

(の) のうち、写真版として良好なものを選んで収録したもので、木簡の釈文・出土遺構・木簡の内容の注解を加えたものである。

日本古代の木簡の全体像を概観しようとしたもので、木簡学会十周年の区切りの事業としてふさわしいものとして発案された。執

筆は石上英一・今泉隆雄・加藤優・鬼頭清明・倉住靖彦・栄原永遠男・佐藤信・佐藤宗諱・杉本一樹・東野治之・平川南・

山中敏史・和田萃の諸氏が出土遺構・木簡の注解等を分担した。

またそれ以外に平野邦雄「木簡と古代史研究」、田中琢「木簡と考古学」、狩野久「木簡概論」、佐藤信「木簡研究の歴史」の四論考を収録することになっている。編集の実務は石上英一・鬼頭清明・栄原永遠男・佐藤信の諸氏が行い、一月現在で初校ゲラの検討を行っている。当初の予定では今年度前半に出版の予定であったが、注解や出土遺構の解説原稿の量がふくらみ、大はばに遅延することとなつた。現状では来年度当初には公刊できるものと考えている、なお本書は岩波書店から刊行の予定である。

木簡学会役員（一九八九・九〇年度）

幹事監事	会長	平野邦雄
森橋本義則	副会長	大庭脩
和田正司	委員	青木和夫
松下庄八		狩野久
和田晴生		鬼頭清明
早川佐藤宗諱		佐藤宗諱
笠山秀三郎		原秀三郎
和田正司		八木充
和田正司		吉田章
和田泰孝		町田東野治之
長山泰孝		吉田孝
寺崎保広		西山良平
本郷真紹		村上隆
吉川真司		渡辺晃宏